

ヒゼキヤ王

シリーズ～旧約聖書入門～

2012/8/12

南ユダ王国,最高の王

▶ 主により頼み,律法を守った

- 「彼はイスラエルの神、主に依り頼んだ。その後ユダのすべての王の中で彼のような王はなく、また彼の前にもなかった。彼は主を固く信頼し、主に背いて離れ去ることなく、主がモーセに授けられた戒めを守った。主は彼と共におられ、彼が何を企てても成功した。」 列王記下18:5-7

▶ 異教や,偶像,違法の祭壇を取り除いた

- 「聖なる高台を取り除き、石柱を打ち壊し、アシェラ像を切り倒し…」18:4
- ヒゼキヤの前のアハズ王が異教礼拝に熱心で,神殿をアッシリアの神の神殿に造りかえた!

ヒゼキヤの宗教改革

▶ 神殿の改修ときよめ

- 「その治世の第一年の第一の月に、ヒゼキヤは主の神殿の扉を開いて修理し、祭司とレビ人を連れて来て、東の広場に集め、言った。『レビ人よ、聞け。今、自分を聖別し、先祖の神、主の神殿を聖別せよ。聖所から汚れを取り去れ。』」歴代誌下29:3～

▶ 過越祭の復活

- 「ヒゼキヤはすべてのイスラエルとユダに使者を遣わし、またエフライムとマナセには書簡を送り、エルサレムの主の神殿に来てイスラエルの神、主のために過越祭を行うように呼びかけた。」30:1

アッシリアの攻撃

- ▶ 前722年に北イスラエル王国を滅ぼしたアッシリアは、10年後に南ユダ王国にも侵攻した
 - 「ヒゼキヤ王の治世第十四年に、アッシリアの王センナケリブが攻め上り、ユダの砦の町をことごとく占領した」18:13
- ▶ ヒゼキヤは神殿の金まで贈ってアッシリアの王に恭順の意を表したが、エルサレムに来た
 - 「アッシリアの王は、ラキシユからタルタン、ラブ・サリスおよびラブ・シャケを大軍と共にヒゼキヤ王のいるエルサレムに遣わした」18:17

アッシリア軍のゆさぶり・あざけり

▶ ヒゼキヤの言葉を信じるな

- 「ヒゼキヤは、『我々の神、主がアッシリアの王の手から救ってくださる』と言って、お前たちを唆し、飢えと渴きで死なせようとしているのではないか。」

▶ 「主」はおまえたちを救えない

- 「お前たちは、わたしとわたしの先祖が全世界の民に行ったことを知らないのか。諸国の神々がわたしの手からその国を救い出すことができたか。わたしの先祖によって滅ぼされたこれら諸国の神々のうち、どの神がわたしの手からその民を救い出すことができたか。お前たちの神は、わたしの手からお前たちを救うことができるというのか。」32:11-14

ヒゼキヤの祈り

▶ すぐに神殿に行ったヒゼキヤ

- 「ヒゼキヤ王はこれを聞くと衣を裂き、粗布を身にまとして主の神殿に行った。」列王記下19:1

▶ 預言者イザヤに祈りを求める

- イザヤに言った「…生ける神をののしるために、その主君、アッシリアの王によって遣わされて来たラブ・シャケのすべての言葉を、あなたの神、主は恐らく聞かれたことであろう。あなたの神、主はお聞きになったその言葉をとがめられるであろうが、ここに残っている者のために祈ってほしい。」19:3

▶ イザヤの預言

- イザヤは言った。「あなたたちの主君にこう言いなさい。『主なる神はこう言われる。あなたは、アッシリアの王の従者たちがわたしを冒瀆する言葉を聞いても、恐れてはならない。見よ、わたしは彼の中に霊を送り、彼がうわさを聞いて自分の地に引き返すようにする。彼はその地で剣にかけられて倒される。』」19:6-7

アッシリア軍の手紙

- ▶ アッシリア軍は南からのクシュの進軍の噂を聞き、あせりからヒゼキヤを再び脅した
 - 「ユダの王ヒゼキヤにこう言え。お前が依り頼んでいる神にだまされ、エルサレムはアッシリアの王の手に渡されることはないと思っ**てはならない**」19:10
- ▶ ヒゼキヤは再び祈り、主はイザヤを通して答えられた
 - 「ヒゼキヤはこの手紙を使者の手から受け取って読むと、主の神殿に上って行った。**ヒゼキヤはそれを主の前に広げ、主の前で祈った。**…わたしたちの神、主よ、どうか今わたしたちを彼の手から救い、地上のすべての王国が、あなただけが主なる神であることを知るに至らせてください。」19:14-19
 - アモツの子イザヤは、言った。「イスラエルの神、主はこう言われる。『アッシリアの王センナケリブのことで**あなたがわたしにささげた祈りをわたしは聞いた。**』」19:20

主の救いと癒し

▶ アッシリア軍, 全滅

- 「その夜、主の御使いが現れ、アッシリアの陣営で十八万五千人を撃った。朝早く起きてみると、彼らは皆死体となっていた。」19:35

▶ ヒゼキヤの病と祈り

- ヒゼキヤは死の病にかかり、イザヤから遺言するように言われた
- 「ヒゼキヤは顔を壁に向けて、主にこう祈った。『ああ、主よ、わたしがまことを尽くし、ひたむきな心をもって御前を歩み、御目にかなう善いことを行ってきたことを思い起こしてください。』こう言って、ヒゼキヤは涙を流して大いに泣いた。」20:2-3

▶ 主による癒し

- 「主はこう言われる。わたしはあなたの祈りを聞き、涙を見た。見よ、わたしはあなたをいやし、三日目にあなたは主の神殿に上れるだろう。わたしはあなたの寿命を十五年延ばし、アッシリアの王の手からあなたとこの都を救い出す」20:19-20

ヒゼキヤの祈り

▶ すぐに祈る

- 「ヒゼキヤ王はこれを聞くと衣を裂き、粗布を身にまとって主の神殿に行った。」

▶ 共に祈る

- 「ここに残っている者のために祈ってほしい。」

▶ すべてをさらけ出して祈る

- 「主の神殿に上って行った。ヒゼキヤはそれを主の前に広げ、主の前で祈った」

▶ 思いを注ぎだして祈る

- 「こう言って、ヒゼキヤは涙を流して大いに泣いた」

主のこたえ

- ▶ 少し時間がかかることも
 - イザヤの預言の後も、再びアッシリアは脅してきた
- ▶ 預言(言葉)による励まし
 - 主はヒゼキヤに直接語られたのではなく、預言者イザヤを通して語られた
- ▶ 主は祈りをすべて聞いておられる
 - 「わたしにささげた祈りをわたしは聞いた」
- ▶ 主は涙を見ておられる
 - 「わたしはあなたの祈りを聞き、涙を見た」